

風力発電による漁港施設の電力費用負担の軽減



漁港内に設置された風車



漁港遠望



風力発電のPR製品



<概要>

- 事業実施主体：はさき漁業協同組合
(茨城県神栖市(波崎漁港内))
- 発電設備：風力発電(名称：J F はさき海風丸)
発電出力 1,000kW
発電電力量 250万kWh/年
- 建設費：約2億7千万円
- 運転開始時期：平成17年4月

<特徴>

- 旧波崎町(現神栖市)が「浜風」を活用した風力発電の検討を平成10年から開始。製氷施設の附帯施設として発電設備を設置。
- 漁港内に設置するため、音や翼の陰影の影響が及ぶ民家がなく、地元調整も円滑に実施。
- 風力発電による電力を活用し漁港施設(製氷施設、荷捌き施設、岸壁照明)の電力費用負担を軽減するとともに、発電設備のメンテナンス費用を賄っている。
- クリーンエネルギーを利用した環境・衛生管理型漁港として、産地、魚ブランドのPRとして活用する他、当該漁港のイメージアップが図られた(設備設置後、釣り人以外に他市や学校関係者も訪れるようになった)。
- 平成18年度第11回新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」受賞。